

石油コンビナート等特別防災区域内の 特定事業所における事故防止体制の充実強化について

特殊災害室

近年、危険物施設における事故件数は増加傾向にあります。石油コンビナート等災害防止法(昭和50年法律第84号)第23条に規定する異常現象について「石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要(平成18年中)」として取りまとめたところ、平成18年中の事故は236件となっており、平成17年中の事故件数の144件を92件上回る状況(63.9%増)となりました。

特に、レイアウト対象の特定事業所における平成18年中の事故件数は151件と前年より61件増加するなど、石油や高圧ガス等を大量に貯蔵し、取り扱う化学工業関係及び石油製品・石炭製品製造関係の特定事業所において事故件数が大幅に増加しています。

また、平成18年中の死傷者は83人となっており、平成17年中の43人の約2倍となるなど、極めて憂慮される事態となっています。

以上のことを踏まえ、消防庁では、「石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故防止体制の充実強化について」(平成19年8月28日付け消防特第115号)を関係道府県あてに通知しました。

また、関係業界団体に対し、次に示す点に留意して、事故防止体制に万全を期すよう通知しています。

- (1) 社内保安基準、作業標準等が実態に照らして適切なものとなっているか総点検すること
- (2) 防災管理者及び副防災管理者に対する防災業務に関する教育を適切に行うこと
- (3) 従業員等に対する防災教育・防災訓練の内容の充実強化を図ること
- (4) 異常現象の通報体制を総点検すること
- (5) 危険物、高圧ガス、可燃性固体類等又は毒物

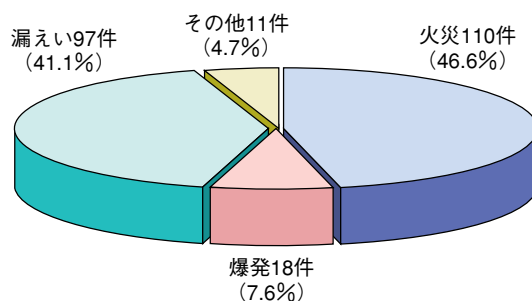
及び劇物を貯蔵し、取り扱う施設において、事故等の危険な状態となった場合の緊急停止措置や避難措置等の応急対策について再確認すること

事故概要

1. 平成18年中の事故発生状況(構成比)

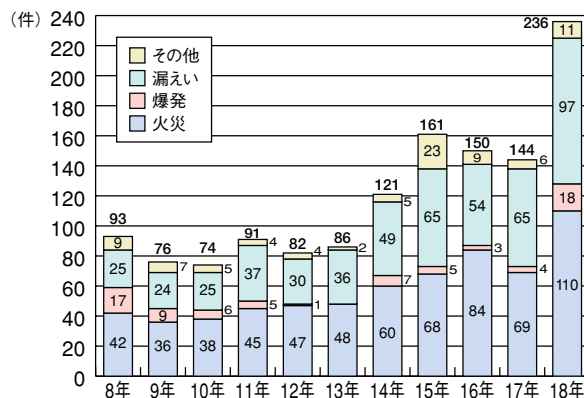
平成18年中の事故の総件数は236件で、前年(144件)より92件の増加となっています。

事故別に見ると、火災110件(前年比41件増)、爆発18件(同14件増)、漏えい97件(同32件増)、その他11件(同5件増)となっています。



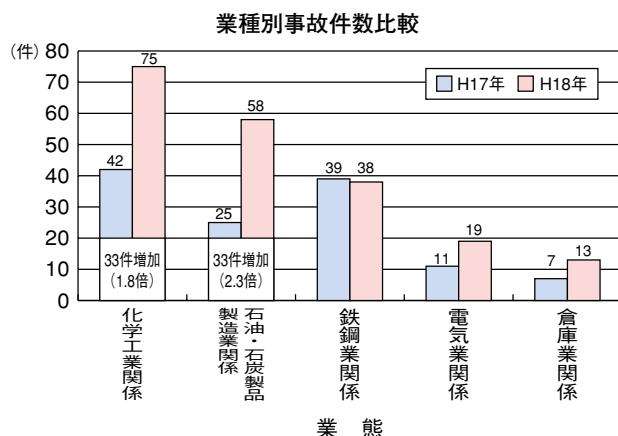
2. 事故件数の推移

事故発生件数の推移をみると、最近10年は増加の傾向にあり、特に平成18年中は大幅に増加しています。



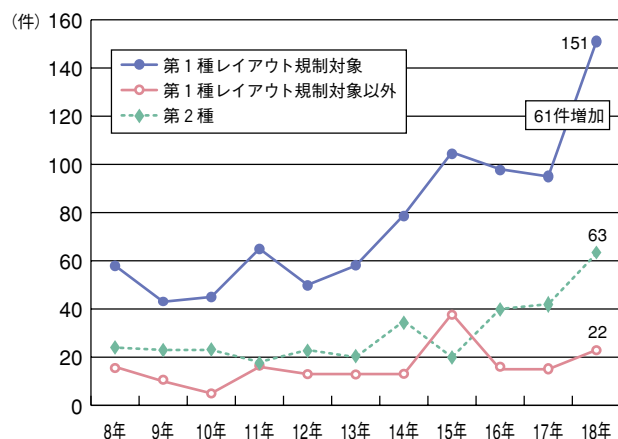
3. 業種別の事故件数

特定事業所の業種別の事故発生状況は、化学工業関係が75件、石油製品・石炭製品製造業関係が58件、鉄鋼業関係が38件となっています。特に、化学工業関係及び石油製品・石炭製品製造業関係は前年と比べて33件増加しており、それぞれ、1.8倍、2.3倍に増加しています。



4. 特定事業所別の事故件数推移

特定事業所の種別ごとの事故発生状況は、第1種事業所ではレイアウト規制対象に係る事故が151件(64.0%)、レイアウト規制対象以外の事故が22件(9.3%)、第2種事業所における事故が63件(26.7%)となっています。



5. 主原因別の事故発生状況

事故の主原因を区分すると、人的要因によるものが127件(53.8%)、物的要因によるものが100件(42.4%)等となっています。人的要因のうち管理不十分によるものが62件、確認不十分によるものが38件あり、双方で事故原因の42.4%を占めています。

事故発生原因	要 因	事故件数	割合(%)
管理不十分	人的要因	62	26.2
誤操作		7	3.0
確認不十分		38	16.1
不作為		12	5.1
監視不十分		8	3.4
(小 計)		127	53.8
腐食等劣化	物的要因	50	21.2
設計不良		12	5.1
故 障		8	3.4
施工不良		17	7.2
破 損		13	5.5
(小 計)		100	42.4
地震等災害	その他	0	0.0
放火等		1	0.4
不明・調査中		8	3.4
(小 計)		9	3.8
合 計		236	100.0

- 注) 1 管理不十分とは、溶接作業中に作業用保護具を着用していなかったため、着衣に着火する等、本来行わなければならない保安管理が不十分であったものをいう。
- 2 確認不十分とは、ローリー運転手が確認作業を怠り、満液となった槽内にさらに荷積みを行ったためガソリンが漏えいする等、本来行わなければならない確認作業が不十分であったものをいう。
- 3 不作為とは、受払が同一構造となっているタンカー配管の受入バルブを完全に閉鎖せずに払い出し、作業を開始したため、重油が漏えいする等、本来行うべき操作を行わなかったものをいう。

6. 死傷者発生状況推移

236件の事故のうち、死傷者が発生した事故は18件、死傷者は83人となっており、平成17年中の死傷者43人に比べるとおよそ2倍になっています。

死傷者発生状況(最近5年間)

